

愛媛県・高知県

垂直連携

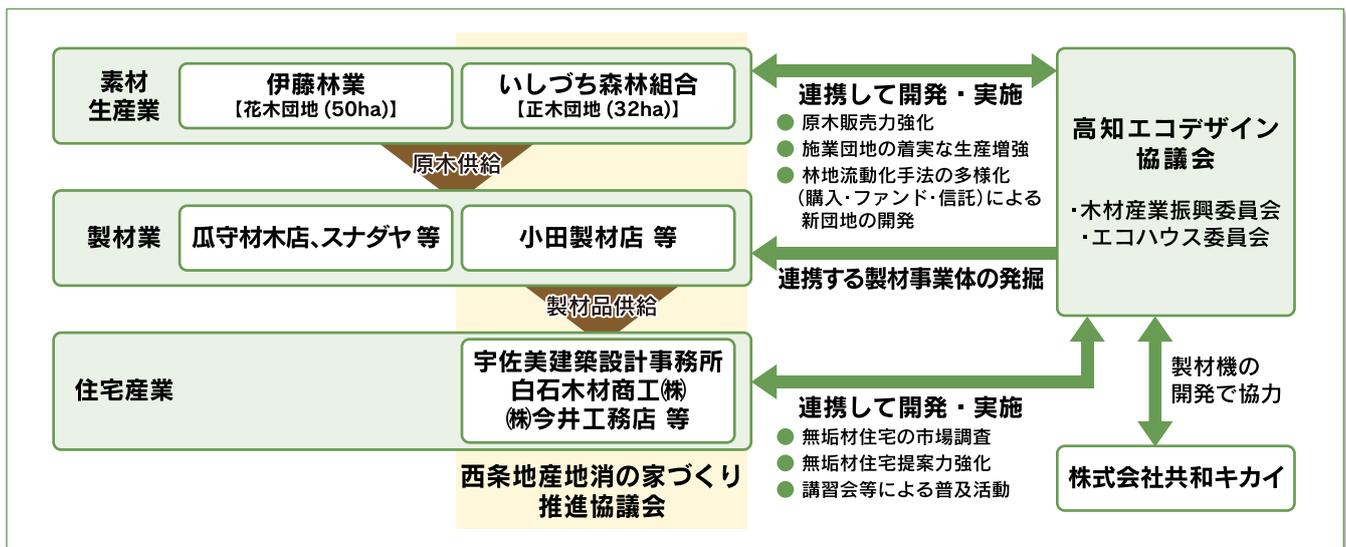
# 木材流通一貫体制の構築により最終製品(木造住宅)の 総原価低減を図り、価格対応力のある木材産地形成を目指す

## 概要

高知エコデザイン協議会は、地域の木材を利用した新しい住宅産業の構築を目的として、本事業に取り組んでいます。四国地域の間伐促進のためには木材のサプライチェーンの強化、特に製材段階の強化が課題とされてきました。同協議会は、木材流通の一貫体制を構築して間伐材の最終製品(木造住宅)の総原価低減を進めることで、木材の付加価値向上につなげようとしています。地域の森林整備を促進するための経済的なインセンティブを生み出すことで、価格対応力のある木材産地の形成を図ろうと取組を進めています。



## 広域連携による森林整備体制



間伐材の出口として期待される、標準化・規格化した木造住宅



間伐遅れ林に精力的に林道を開設し、間伐を推進



林業機械による利用間伐



西条地産地消の家づくり推進協議会と地域の林業現場を視察



山元土場での仕分け作業

## 取組の内容と成果

同協議会では、素材生産の改善課題の抽出、機械メーカーと共同での革新的な製材機の開発、木造住宅の原価の分析と目指すべき仕様の明確化等に取り組み、木材流通一貫体制の構築に向けた全体戦略を具体化してきました。

それを受けて、連携主体であるいしづち森林組合および伊藤林業では、施業団地の設定・拡大と路網の延伸などを進めています。これらの基盤整備により、間伐量も着実に増えてきています。原木直販体制の確立に向けた取り組みでは、製材所との連携強化を進めています。

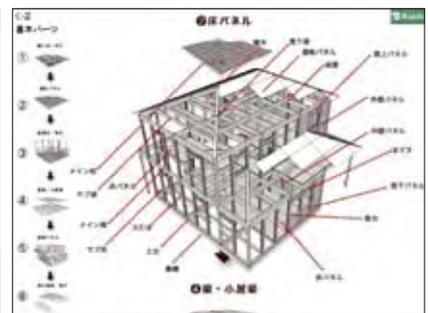
また、間伐材の最終製品である「無垢の木の家」のPR ツールを充実させるとともに、セミナー等の開催に力を入れるなど、住宅市場の開拓・確保を進めています。

| SC        | 林業  | 素材生産業者                                | 製材乾燥業者  | 住宅産業  |
|-----------|---|---------------------------------------|---|---|
| 課題の所在と対策  | ①従来の日本木材産業の課題：個別SCごとの効率化と一付加価値不足→個別SC競争→SC競争による産業競争力低下<br>②課題解決法：革新的木材産業モデル構築＝国産無垢材多価高質に置く住宅産業を川下とする木材産業SCの一貫化・地場化・効率化で国際競争力確立<br>③具体的行動：個別SCごとの経営効率化の継続的展開→高付加価値個別SCによる林業～住宅産業の一貫事業体制の確立 |                                       |   |   |
| 付加価値形成可能性 | 3,000 円/m <sup>3</sup>  | 12,000 × 0.8 = 9,600 円/m <sup>3</sup> | 60,000 × 0.8 × 0.45 = 21,600 円/m <sup>3</sup> | 500,000 × 0.8 × 0.45 × 0.8 = 158,400 円/m <sup>3</sup> |
| 標準        | 1   | 3.2                                   | 7.2   | 52.8  |
| 経営活動内容    | ① 森林整備の継続的実施  | ② 林地活動化方式の拡大                          | ③ 素材生産業者経営システムの開発                             | ④ 生産効率化品質高質化の推進<br>⑤ 高付加価値商品の開発                       |

木材流通一貫体制による総原価低減のコンセプト



間伐材の最終製品である住宅のPR資料(一部)



## 今後に向けて

「無垢の木の家」の販売促進に向けて、地域の工務店等やそのグループ組織との協力関係の強化を進めています。大手ハウスメーカー等との差別化を図りながら、地域における住宅市場の開拓・確保を進めていこうとしています。

本事業では、価格対応力・国際競争力がある木材産地の形成が大きな目標に掲げられています。工業経営的な視点をもって木材の生産・流通の全体をマネジメントを行う取り組みを積み重ねていくことで、持続的に地域の経済・産業を支える強い林業・木材産業の形成を目指していきます。

### 担当者のことば

### comments

#### 事業を通じてより連携を強固なものに



高知  
エコデザイン協議会  
会長  
高村 禎二氏

広域連携事業を利用することで、伐採現場を工務店が見学したり、森林組合が製材所や工務店の建築現場を見学するなど、より連携を強固なものにできたのと同時に、高知県内で伐採した材を愛媛県内の製材所に直送するというような実績もできました。山元から製材所、工務店までの流れを説明するビデオも作成し、一般消費者の方にも材の流れや地域材を利用する意味がわかってもらえるものと思います。

#### 担うべき役割を再確認



いしづち森林組合  
参事  
永井 敦氏

広域連携事業において取り組んできた内容は、川上から川下までの垂直連携によるサプライチェーンの構築であり、参画した林業・木材産業の各事業体が検討会議において問題点の抽出と検証により、担うべき役割を再確認できたことは新たな事業展開につながる具体的な方向性を示すものとなりました。今後は、この事業で整備できたソフトを生かし、参画事業体との連携をより強固にし、ハード面の充実を図っていきたいと思っています。